

農短大だより

発行日 平成18年10月22日
福島県農業総合センター
農業短期大学校
発行責任者 校長 横木 信行
(第9号) 西白河郡矢吹町一本木446-1



農短の秋 収穫の秋



F T V 「うつくしま情報局」で本校紹介番組のロケ実施(10月15日放送)



1 学年生稲刈り体験(9月26日)園芸学科・畜産学科の学生も、水稲(こがねもち)の刈取り・結束・はせ掛けの体験をしました。

平成19年度 農学部 本科・研究科 学生募集

関連記事
4 ページ

農産物直売所大盛況!

九月十四日、今年最初の直売実習を研究実験棟ピロティで行いました。あいにくの雨にもかかわらず、多くのお客様でにぎわいました。

日ごろの栽培技術だけではなく、販売ノウハウの習得や消費者との直接的な交流を目的として、丁寧な対応や積極的な呼びかけにも力を入れました。販売の他、駐車場の誘導も二年生が交替で担当し、協力しながら実施しました。また、今年から、代金支払いの待ち時間を短くするために各専攻ごとにレジを設置するなど、接客サービスの向上にも力を入れました。

九月二十八日に開催した二回目は天候に恵まれ、例年どおり研修棟わきの駐車場で実施しました。前年以上の多くのお客様においでいただき販売にあたった学生は大忙しでした。

また、十月十二日に開催した三回目では、用意した新米が五分ほどで売り切れとなり、急ぎよ倉庫から追加を手配しなければならぬほどの人気でした。

なお、次回は十一月九日と二十二日に開催されます。



丁寧な対応を心がけました



T V 局の取材にも笑顔で対応

先進農家留学研修

～一学年～

今年も、夏休みの前後に先進農家での留学研修を行いました。

これは、実践力を醸成するため、二学年時に十五日間、県内農家等で研修を行うものです。

農家生活の実際を体験することにより、農業の面白さや生産現場の厳しさを学生自らが肌で感じ取る機会となっております。

各受入農家は、先進的な技術を持つだけでなく、人生の先輩として同じ志を持つ学生の良き相談者として接してくださいました。

経営を発展させる先進技術のノウハウや、様々な問題が生産者に降りかかる現状を理解し、これらどのように農業を展開すべきかということも考えることができました。

また、第一線の現場で培った経験に裏付けられた助言や指導を受け、学生たちは改めて農業の奥深さと難しさを感じていました。

この研修で、プロから受けた指導・助言を、学生がこれからの進路、そして人生の糧として十分生かしてくれることを願います。



研修先のご家族には大変お世話になりました



共に働き共に汗を流してすっかり家族の一員です



プロの手ほどきを受けながら現場ならではのノウハウを習得します

県外研修

～一学年～

一学年生五十二名の県外研修を、九月二十七、二十八日の一泊二日で行いました。

一日目は茨城県つくば市の中央農業総合研究センター内の「つくばリサーチギャラリー」でした。最新の研究成果と農業技術の発達の歴史について興味深く学ぶことができました。

二日目の早朝は、東京都中央卸売市場大田市場でした。九月は、年間を通じて最も多くの品目がそろう時期であり、特に野菜、ナシ、ブドウなどの取扱いの多さが目立っていました。青果棟二階の見学通路から、真つ最中のせりを見学し、学生たちはうず高く積まれた出荷物の多さと活気に包まれた市場の雰囲気を目を奪われていました。

午後は栃木県那須塩原市の千本松牧場でした。先進的な酪農施設で、土作りや牧草作りから乳製品の製造まで一貫生産を行う循環型の牧場運営を行っています。昼食後は、アイスクリーム作りを体験することができました。



栃木県那須塩原市の千本松牧場でアイスクリーム作りを体験しました



東京都中央卸売市場大田市場規模の大きさに圧倒されました



つくばリサーチギャラリーを見学しました

農産学科

稲刈作業が終了しました。
今年本校で作付した品種は、コシヒカリをはじめ、ふくみらい、ひとめぼれ、あきたこまちなどです。九月十九日のあきたこまちをスタートに、順次早生の品種から刈り取りを開始しました。圃場の一部にはややぬかるみは残ったものの、長雨や台風による倒伏などの影響も少なく、四ヘクタールの刈り取りは順調に進みました。
また、今年初めての試みとして、農産学科はもろろんのこと、園芸学科、畜産学科まで一年生全員が、鎌を片手に、「手刈り」を経験し、学科・専攻の枠を越えて「コメづくり」の意義や苦勞に理解を深めることができました。



1年生稲刈り体験 先生の指導で
はせを作っている農産学科の学生

園芸学科

一学年生は野菜十五名・果樹七名・花き八名に分かれ、それぞれの専攻中心の実習・講義に移り、いままで以上に集中して取り組んでいます。
前期試験や県外研修も終わり、専攻によつては二学年時に取り組む卒業論文の作物を選定するなど、専門の技術習得に余念がありません。
二学年生は二週間の先進農家等留学研修を終え、先進農家の経営・技術を昼夜をとおして体験・研修してきました。今後は卒業論文のまともに全力投球する時期となりました。
本年は気象災害等も少なく、実りの秋を迎えたこの頃です。



花き専攻の1学年生
花壇作りの実習

畜産学科

十八年度も半年が経過し、学生達は充実した学校生活をおくっています。
二学年生は先進農家留学研修、企画研修を実施し、より高度な知識・技術を修得しました。現在は卒業論文の調査研究や就職活動に積極的に取り組んでいます。
一年生は各専攻に別れて五か月が過ぎ、酪農・肉畜コースともに講義や実習に精力的に取り組む姿が見られ、それぞれの畜種のスペシャリストに着実に成長しています。
両学年とも、各自の目標に向かって一層頑張つて欲しいと願っております。



畜産学科
牛と仲間と牧草地

研究科

今年度から研究科は、農業に関するより高度な実践力と経営管理能力を学ぶため、本校での講義等にに加え、五月から十一月までは、農業総合センターで研究員の指導のもと専攻や卒業論文に取り組むことになりました。
今年の研究科生は二名で、ウターン就農を目指しています。卒業論文では、トルコギキョウ栽培及び有機米栽培に取り組んでいます。研究科生二人とも農業の経験はほとんどないのですが、農業を行いたいとの強い熱意と理解力の高さで、日々知識や技術を習得しています。研究科での履修や農業に熱い情熱をお持ちの方の応募をお待ちしています。



Uターン就農を目指す研究科生2名
農業総合センター（郡山市）にて

平成十九年度学生募集

本県の次代を担う農業者・地域農業指導者を育成するため、農学部本科及び研究科の学生を次により募集します。

募集人員

本科

農産学科（稲作・畑作）
十五名程度

園芸学科（野菜・果樹・花き）
三十名程度

畜産学科（酪農・肉畜）
十五名程度

研究科

作物経営・野菜経営・果樹経営
花き経営・酪農経営・肉畜経営
若干名

本科一般入試

前期募集（十名程度）

受 付・十一月十五日（水）
～二十四日（金）

試 験・十二月 六日（水）

試験内容・学力試験、面接試験
合格発表・十二月十三日（水）

後期募集（十名程度）

受 付・一月二十三日（火）
～二月一日（木）

試 験・二月十五日（木）
試験内容・学力試験、面接試験
合格発表・二月二十二日（木）

研究科入試

受 付・一月 四日（木）
～十五日（月）

試 験・一月二十六日（金）

試験内容・小論文、面接試験
合格発表・ 二月二日（金）

なお、出願資格、試験科目等、詳細については、学生募集要項に詳しく掲載されております。

郵送を御希望の方は、本校農学部（教務管理）までお問い合わせください。また、本校の教育内容、大学生活に関する御質問についても随時受け付けておりますので、お気軽に御連絡ください。
本校ホームページでも募集の概要が確認できます。

お問い合わせは：

電 話・〇二四八（四二）四一一
F A X・〇二四八（四四）四五五三
受付時間
平 日・午前八時三〇分
～午後五時十五分

本校農学部（教務管理）まで

研修案内

研修部では、一般農業者や新規参入者、就農予定者等のための専門的な研修を実施し、優れた農業者と意欲ある担い手の育成確保に取り組んでいます。

研修項目	研修名称	開催期間
専門研修	気象講座	平成18年11月22日
農産加工研修	県産農産物活用加工研修 県産米活用 杵搗き餅・団子の加工	平成18年11月30日
	加工技術情報の交換交流 県産機能性農産物加工情報の提供と交換交流	平成19年 2月 1日
	地域資源を活かした加工情報の提供と交換交流	平成19年 2月15日

上記研修のお問い合わせ・お申し込みは、本校研修部（電話 0248-42-4111）までお願いします。
本校ホームページからも詳しい研修内容及び申込状況が確認できます。

URL <http://www.pref.fukushima.jp/nougoutandai/tandai1.htm>